

燕市・弥彦村 商工会景況調査報告書

組織番号 31

商工会名 吉田商工会

報告者名 濱田英明

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 燕市・弥彦村 商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 45 事業所)
ウ 回答企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 45 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和5年7月～令和5年12月
(調査時点 令和5年12月31日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	12	26.7%	12	26.7%
建設業	10	22.2%	10	22.2%
卸・小売業	12	26.7%	12	26.7%
サービス業	11	24.4%	11	24.4%
合計	45	100.0%	45	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

コロナ禍による影響は回復しつつあるが、飲食店を中心に回復しきれていない業種も見られる。一方で、原材料高、資源高によるコストの上昇を販売に十分転嫁出来ておらず収益は悪化傾向にある。

【後継者の状況】

後継者のいない事業所が2/3あり、増加傾向にある。後継者不在の経営は将来廃業に繋がるため、第三者承継等を通じた支援も今後重要となってくる。

後継者 あり	15事業所	33.3%
後継者 なし	30事業所	66.7%

【売上高】

前年比は増加も多いが、前期比では不変が多い。このことから、売上が上昇した企業も頭打ちになっている傾向が見られ、今後の見通しについて減少と回答する事業所が多く、先行きの不透明感が顕著である。

前年同期比

増加	不変	減少
18	9	18

前期比

増加	不変	減少
13	15	17

今後の見通し

増加	不変	減少
9	17	19

【採算】

仕入れは前年比、前期比ともに不変、悪化の回答が多く、今後の見通しも悪化が多い。コストの上昇を価格に転嫁できておらず、今後についても十分に転嫁出来ず、採算面を悪化が懸念される。

前年同期比

好転	不変	悪化
12	17	16

前期比

好転	不変	悪化
8	22	15

今後の見通し

好転	不変	悪化
9	17	19

【仕入単価】

仕入単価は今後さらに上昇すると答える事業所が多く、当面仕入単価は上昇傾向か高止まりが続くと思われる。

前年同期比

上昇	不変	低下
36	8	1

前期比

上昇	不変	低下
28	16	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
30	14	1

【販売（客）単価】

客単価については低下と回答は少ないものの、不変（現状維持）が多く、価格転嫁が進んでいないことがうかがえる。

前年同期比

上昇	不変	低下
18	23	4

前期比

上昇	不変	低下
15	27	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
11	28	6

【資金繰り】

資金繰りについては不変、もしくは悪化が多く、好転する兆しはアンケートからは見られない。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
1	31	13	3	32	10	2	30	13

【雇用動向】

ほとんどが不変で、改善傾向はみられない。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	39	4	1	38	6	1	42	2

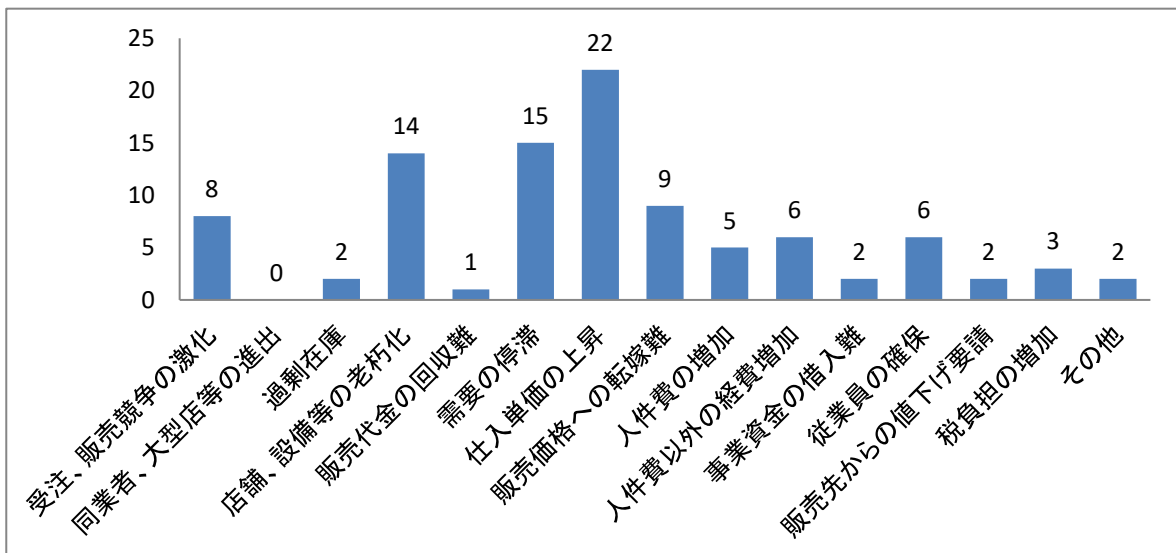
【景況判断】

総じて不変・悪化の回答が多く、特に今後の見通しは現状維持か悪化と見込まれており、先行き不透明感が顕著に表れている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
10	18	17	7	22	16	4	26	15

【経営上の問題点】

仕入単価の上昇 → 採算の悪化
 需要の停滞 → 売上げの伸び悩み
 設備の老朽化 → 生産性の停滞
 をあげる事業所が多く小規模事業者の置かれている状況を如実に表している。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

比較的コロナ禍の影響を受けておらず、巣ごもり需要を取り込み、比較的業績好調な事業所もあったが、巣ごもり需要も一巡し原材料高の影響もあり採算面の悪化も懸念され、見通しは厳しい。

(2) 建設業

原材料価格の上昇により、収益は悪化傾向にあり、当面この状況は続くと思込まれている。

(3) 卸・小売業

従前より大型店との競合で厳しい状況が続いている業種であり、後継者がいないとの回答が多く、今後の見通しも厳しい。

(4) サービス業

最もコロナ禍の影響を受けた業種であるが、売上は回復傾向にある。一方で価格転嫁が十分ではなく、原材料価格の影響で収支は悪化傾向となっている。